

## 2025年度 一般入試② 問題 (社会)

I 問題 次の文章をよく読んで、あとの問いに答えなさい。

2024年4月1日、働き方改革関連法によってトラックドライバーの時間外労働時間（残業時間ともいいます）が年間最大960時間に制限されました。これによって生じるさまざまな問題を「物流の2024年問題」といいます。例えば時間外労働時間の制限でドライバーひとりあたりの走行距離が短くなり、これまでよりも長距離輸送に時間や人手がかかる一方、ドライバーひとりあたりの収入が減ることとなり手も減り、ドライバー不足がさらに進むと考えられています。トラックドライバーが働きやすい環境をつくるための①法律が、長距離輸送に大きな問題をもたらしたのです。こうした状況をふまえ、これからの貨物輸送のあり方がさかんに議論されていますが、そもそもこれまで、日本の長距離貨物輸送はどのようになされていたのでしょうか。

明治時代以前、ものを遠くまで大量に運ぶための手段として活躍したのは②船でした。江戸時代になると、各藩の（③）が置かれた大坂から、人口の多い江戸へ向かう海上輸送が発展します。この時期には東廻り航路（東北地方の日本海側から④津軽海峡を通り太平洋岸を南下して江戸へ至る航路）と西廻り航路（東北地方の日本海側から西へ進み、関門海峡と瀬戸内海を通過して大坂へ至る航路）の整備が進み、海運は次第に活発になりました。海運だけでなく河川での舟運（小型の船によって荷物などを運ぶこと）も発達します。特に⑤東廻り航路で運ばれてきた荷物を銚子で積みかえ、利根川をさかのぼり江戸川を下って江戸（東京）まで運ぶ船が、江戸（東京）の生活を支えました。航海技術が未発達の時代には、黒潮に逆らいながら房総半島東岸を南下して江戸湾（東京湾）へ入るよりも、銚子から舟運で江戸（東京）へ運ぶほうが安全だったのです。

明治時代になると1872年に新橋・横浜間で鉄道が開通しましたが、翌年には旅客だけでなく貨物輸送もはじまりました。海や川から離れた内陸部でも線路さえ建設すれば旅客や貨物を大量に輸送できる鉄道は、風向きや天候の影響を受けやすい船と異なり確実に目的地まで運べる安定性が注目され、1880年代以降に鉄道建設が各地で急速に進みます。鉄道路線網（複数の鉄道路線によって形成された交通）の拡大や電化、複線化などにより、鉄道貨物の輸送量は次第に増えていきました。⑥大正時代になると第一次世界大戦にともなう国内産業の発展などもあって、鉄道による貨物輸送の重要性はさらに増します。増加する貨物を効率よく運ぶため、⑦陶磁器輸送に特化した陶器車や新鮮な野菜を運べる通風車など、さまざまな貨車が開発されていきました。

太平洋戦争後も、戦後の復興や⑧朝鮮戦争の開戦による好景気を支えた貨物輸送の主役は鉄道でした。貨物に限らず、郵便物や⑨新聞の配送も長距離輸送は鉄道が担いました。しかしその一方、全国的な道路網の整備や道路の改良、自動車の普及や高性能化、とくに高速道路の建設が進むにつれてトラックによる長距離貨物輸送が増加していきました。トラックは手間のかかる荷物の積みかえをせずに出発地から目的地まで直接運べます。そのため、高度経済成長期を通じて貨物輸送の主役が鉄道からトラックへ変わっていったのです。

同様に旅客輸送の主役も鉄道から自動車へ移り、利用客が減った鉄道路線は次々と廃止されていきました。近年では、新たに新幹線が開通すると並行在来線（新幹線と並行して走る、以前から存在するJRの鉄道路線）がJRの経営から切り離されることが多く、その際に廃止が提案されることもあります。⑩例えば、将来北海道新幹線の並行在来線となる函館本線では、北海道新幹線の札幌駅までの延長にともなって利用客の減少が予想される一部区間の廃止が提案されました。このような鉄道路線の相次ぐ廃止もあり、貨物列車を目にする機会は全国的に減っていきました。いまでは、日本国内の貨物輸送において鉄道が担う割合は10%にも満たない状況です。

しかし近年、鉄道貨物の長所が再び注目されています。鉄道で貨物1トンを1km輸送する際に排出される二酸化炭素の量は、トラックに比べて約8分の1といわれています。また、現在首都圏と九州を結ぶ貨物列車は一度に最大650トンを輸送することができ、これは10トントラック約65台分になります。環境保護やエネルギー効率も重視され、「物流の2024年問題」をきっかけに貨物輸送のあり方が議論されている日本では、これからの物流を支えていく輸送手段として、一度衰退した鉄道貨物に再び期待がかかっているのです。

《写真》北海道新幹線の区間（新青森駅～新函館北斗駅）を走行する新幹線と貨物列車



(日本経済新聞デジタル版 2022年9月14日)

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOFC1320C0T10C22A900000/> の写真を一部切り抜き

問1. 下線部①に関連して、国民の祝日に関する法律にもとづき毎年9月23日またはその前後に設定され、「先祖をうやまい、亡くなった人々をしのぶ」ことを目的としている祝日の名前を答えなさい。

問2. 下線部②に関連して、遣唐使船に関する記述としてふさわしくないものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 遣唐使船は通常4隻の船で構成され、多いときには600人を超える人たちが船に乗って、日本から唐へ向かった。
- イ. 遣唐使船のなかには造船や航海の技術の未発達から遭難する船もあり、唐への航路の途中で命を落とす人もいた。
- ウ. 遣唐使船に乗って唐に渡った留学生のなかには、帰国後に聖徳太子(厩戸王)の政治に影響を与えた人もいた。
- エ. 遣唐使船によって唐から運ばれた宝物のなかには、聖武天皇の死後、東大寺の正倉院に保管されたものもあった。

問3. 本文中の( ③ )には、下図にえがかれている施設の名前が入ります。この施設の名前を答えなさい。



(『小学社会6年』日本文教出版より)

問4. 下線部④に関連して、次のア～オの海峡の名前を《見本》のようにA・Bの2つに分類した場合、1つだけがAに分類されます。Aに分類されるものを次のア～オから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 関門海峡      イ. 佐渡海峡      ウ. 対馬海峡      エ. 津軽海峡      オ. 鳴門海峡

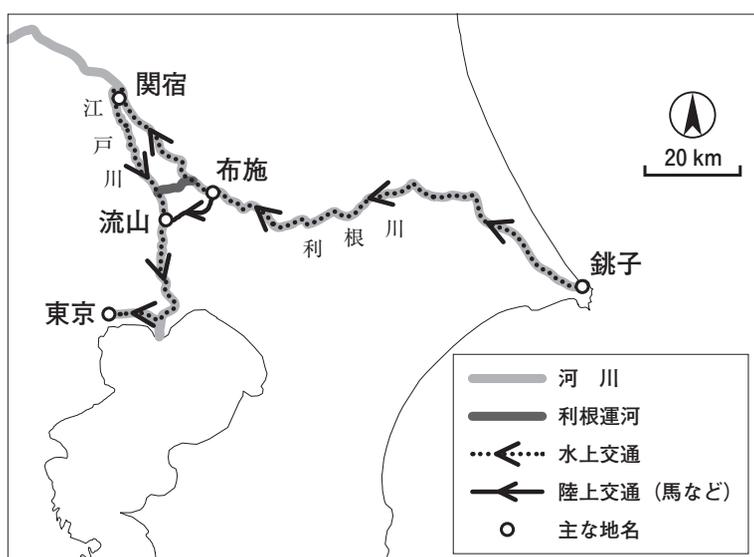
《見本》

A	とうめい 東名高速道路	ほんしん 阪神工業地帯	こんせん 根釧台地
B	とうほく 東北自動車道	とうかい 東海工業地域	しもうさ 下総台地

問5. 下線部⑤に関連して、こうした船が東京へ向かう際に通る新たなルートとして、1890年に「利根運河」という運河(人工的につくった水路)が利根運河株式会社によって建設・運営されました。利根運河は最盛期には1日あたり100隻ほどが通過しましたが、利根運河株式会社の経営は次第に悪化していきます。この利根運河に関して以下の(1)・(2)に答えなさい。

- (1) 利根運河はどのような目的で作られたのでしょうか。利根運河が開通するまでの積み荷の輸送ルートにふれつつ、《資料1》から考えられることを解答欄の言葉に続けて100字以内で説明しなさい。
- (2) 利根運河株式会社の経営が次第に悪化した理由について、本文と《資料1》～《資料5》から考えられることを100字以内で説明しなさい。

《資料1》利根運河が開通する前、銚子から東京へ向かった船の積み荷の輸送ルートの例



(流山市教育委員会編『利根運河120年の記録』などをもとに作成)

《資料3》利根運河株式会社の経営に関する説明文

利根運河株式会社は、運河を通行する船から通航料をとって、収入を得ていました。まず運河の入口の料金所で運河を利用する船から通航料をとって、その際に通船券を発行します。そして出口の料金所でこの通船券を回収しました。

一方で支出として、人件費や船がきちんと通れるように運河を整備するための費用などがありました。特に堤防が破損した場合や運河に土砂が流入した場合は、臨時に多額の出費が必要となりました。

(流山市教育委員会編『利根運河120年の記録』をもとに作成)

《資料5》利根運河の洪水被害に関する説明文

利根川はよく洪水を起こした川として知られています。利根川の洪水はたびたび利根運河もおそい、特に1890年代後半から1940年代はじめにかけて複数回発生した大洪水は、利根運河に大きな被害を及ぼしました。

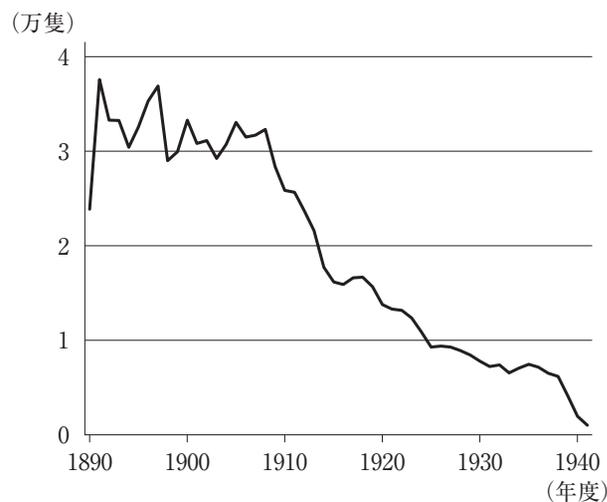
(流山市教育委員会編『利根運河120年の記録』、国土交通省関東地方整備局江戸川河川事務所「利根運河」などをもとに作成)

《資料2》利根川周辺を通る鉄道に関する年表

1891年	東京と青森が鉄道で結ばれる
1896年	東京と水戸が鉄道で結ばれる
1897年	東京と銚子が鉄道で結ばれる
1898年	東京と千葉県北東部が鉄道で結ばれる 水戸と宮城県南部が鉄道で結ばれる

(流山市立博物館編『流山市史 別巻(利根運河資料集)』などをもとに作成)

《資料4》利根運河を通行した船の数の推移



注：船の数にいかだはふくまない

(流山市教育委員会市史編さん室編『流山市史 近代資料編 新川村関係文書』、流山市立博物館編『流山市史 別巻(利根運河資料集)』をもとに作成)

問6. 下線部⑥に関連して、大正時代におきた社会運動に関する記述としてふさわしくないものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

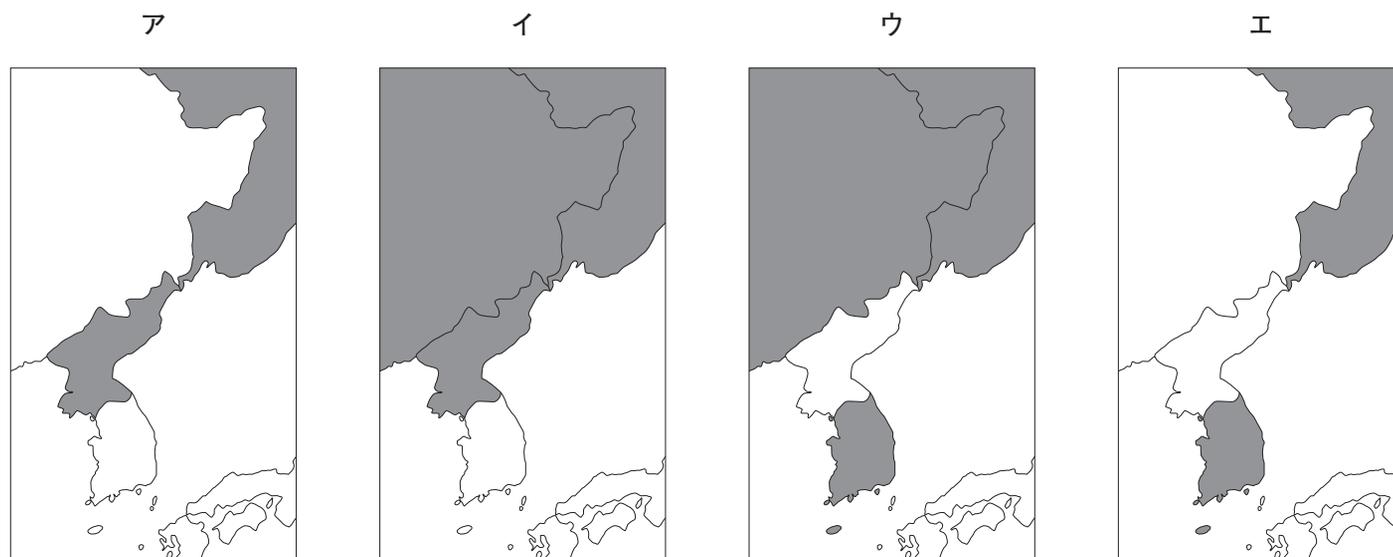
- ア. 平塚らいてうは、男性よりも低くおさえられていた女性の地位向上をめざす運動をはじめた。
- イ. 身分制がなくなっても続く差別に苦しんでいた人々は、全国水平社をつくって差別をなくす運動に立ち上がった。
- ウ. 田中正造は、足尾銅山の鉍毒問題を解決するために衆議院議員として国会で何度もこの問題の解決をうったえた。
- エ. 民主主義の考えが社会に広まるなかで、普通選挙の実現を求める運動が全国各地でおこった。

問7. 下線部⑦に関連して、次の表のア～エは陶磁器産地がある石川県・岐阜県・栃木県・長崎県のいずれかにあたります。次の表を見て、長崎県にあたるものをア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

県	陶磁器製食器出荷額 (万円)	野菜の産出額 (億円)	農業産出額に占める 米の割合 (%)	木材生産額 (千万円)	県内新幹線総延長 (km)
ア	2,377,241	385	15.4	672	約 31
イ	464,944	449	6.0	159	約 49
ウ	86,231	90	48.6	141	約 72
エ	54,074	749	16.9	911	約 105

(経済産業省「2023年経済構造実態調査」、農林水産省「令和4年生産農業所得統計」、同「令和4年林業産出額」、地理院地図をもとに作成)

問8. 下線部⑧に関連して、朝鮮戦争が休戦となった1953年当時、ソビエト連邦を中心とする「東側の国」と、アメリカ合衆国を中心とする「西側の国」が対立していました。このうち「東側の国」の分布(地図上の色をぬった部分)として適切なものを次の地図ア～エから1つ選び、記号で答えなさい。



問9. 下線部⑨に関連して、次のア～エはいずれも2024年1月3日の新聞紙面の一部です。このうち、新聞の「1面」を切り抜いたものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。なお、紙面の縮尺はすべて同じです。

ア

イ

**都民**

都内版編集室 〒100-8055  
千代田区大手町1の7の1  
都内新聞販売株式会社  
電話 03(3217)1465・1466  
FAX 03(3217)1468  
tomii@yomiuri.co.jp

江東支局 電話03(363)18116  
武蔵野支局 電話0422(51)3131  
立川支局 電話042(523)4477

ホームページ  
www.yomiuri.co.jp/local/

YOMIURI 0120-4343-81

【広告】読者Palette  
03(6272)9027  
【折込チラシ】 0120-03-4343  
【読者旅行】 03(5550)0666

1月4日(木曜日)  
11月23日(先着)

■ 通日 4  
■ 月曜 22.4  
■ 日曜 10.03  
■ 土曜 16.40  
■ 月曜 3.25  
■ 月曜 11.22  
■ 土曜 16.57  
■ 土曜 16.57  
(小欄)

著作権の関係で掲載出来ません

(読売新聞 2024年1月3日)

ウ

エ

<b>1 NHKテレビ</b> 06:00 朝のワイドショー 06:30 日本経済新聞 07:00 朝のワイドショー 07:30 朝のワイドショー 08:00 朝のワイドショー 08:30 朝のワイドショー 09:00 朝のワイドショー 09:30 朝のワイドショー 10:00 朝のワイドショー 10:30 朝のワイドショー 11:00 朝のワイドショー 11:30 朝のワイドショー 12:00 朝のワイドショー 12:30 朝のワイドショー 13:00 朝のワイドショー 13:30 朝のワイドショー 14:00 朝のワイドショー 14:30 朝のワイドショー 15:00 朝のワイドショー 15:30 朝のワイドショー 16:00 朝のワイドショー 16:30 朝のワイドショー 17:00 朝のワイドショー 17:30 朝のワイドショー 18:00 朝のワイドショー 18:30 朝のワイドショー 19:00 朝のワイドショー 19:30 朝のワイドショー 20:00 朝のワイドショー 20:30 朝のワイドショー 21:00 朝のワイドショー 21:30 朝のワイドショー 22:00 朝のワイドショー 22:30 朝のワイドショー 23:00 朝のワイドショー 23:30 朝のワイドショー 24:00 朝のワイドショー	<b>2 NHK Eテレ</b> 06:00 朝のワイドショー 06:30 朝のワイドショー 07:00 朝のワイドショー 07:30 朝のワイドショー 08:00 朝のワイドショー 08:30 朝のワイドショー 09:00 朝のワイドショー 09:30 朝のワイドショー 10:00 朝のワイドショー 10:30 朝のワイドショー 11:00 朝のワイドショー 11:30 朝のワイドショー 12:00 朝のワイドショー 12:30 朝のワイドショー 13:00 朝のワイドショー 13:30 朝のワイドショー 14:00 朝のワイドショー 14:30 朝のワイドショー 15:00 朝のワイドショー 15:30 朝のワイドショー 16:00 朝のワイドショー 16:30 朝のワイドショー 17:00 朝のワイドショー 17:30 朝のワイドショー 18:00 朝のワイドショー 18:30 朝のワイドショー 19:00 朝のワイドショー 19:30 朝のワイドショー 20:00 朝のワイドショー 20:30 朝のワイドショー 21:00 朝のワイドショー 21:30 朝のワイドショー 22:00 朝のワイドショー 22:30 朝のワイドショー 23:00 朝のワイドショー 23:30 朝のワイドショー 24:00 朝のワイドショー	<b>3 日本テレビ</b> 06:00 朝のワイドショー 06:30 朝のワイドショー 07:00 朝のワイドショー 07:30 朝のワイドショー 08:00 朝のワイドショー 08:30 朝のワイドショー 09:00 朝のワイドショー 09:30 朝のワイドショー 10:00 朝のワイドショー 10:30 朝のワイドショー 11:00 朝のワイドショー 11:30 朝のワイドショー 12:00 朝のワイドショー 12:30 朝のワイドショー 13:00 朝のワイドショー 13:30 朝のワイドショー 14:00 朝のワイドショー 14:30 朝のワイドショー 15:00 朝のワイドショー 15:30 朝のワイドショー 16:00 朝のワイドショー 16:30 朝のワイドショー 17:00 朝のワイドショー 17:30 朝のワイドショー 18:00 朝のワイドショー 18:30 朝のワイドショー 19:00 朝のワイドショー 19:30 朝のワイドショー 20:00 朝のワイドショー 20:30 朝のワイドショー 21:00 朝のワイドショー 21:30 朝のワイドショー 22:00 朝のワイドショー 22:30 朝のワイドショー 23:00 朝のワイドショー 23:30 朝のワイドショー 24:00 朝のワイドショー	<b>4 テレビ朝日</b> 06:00 朝のワイドショー 06:30 朝のワイドショー 07:00 朝のワイドショー 07:30 朝のワイドショー 08:00 朝のワイドショー 08:30 朝のワイドショー 09:00 朝のワイドショー 09:30 朝のワイドショー 10:00 朝のワイドショー 10:30 朝のワイドショー 11:00 朝のワイドショー 11:30 朝のワイドショー 12:00 朝のワイドショー 12:30 朝のワイドショー 13:00 朝のワイドショー 13:30 朝のワイドショー 14:00 朝のワイドショー 14:30 朝のワイドショー 15:00 朝のワイドショー 15:30 朝のワイドショー 16:00 朝のワイドショー 16:30 朝のワイドショー 17:00 朝のワイドショー 17:30 朝のワイドショー 18:00 朝のワイドショー 18:30 朝のワイドショー 19:00 朝のワイドショー 19:30 朝のワイドショー 20:00 朝のワイドショー 20:30 朝のワイドショー 21:00 朝のワイドショー 21:30 朝のワイドショー 22:00 朝のワイドショー 22:30 朝のワイドショー 23:00 朝のワイドショー 23:30 朝のワイドショー 24:00 朝のワイドショー	<b>5 TBSテレビ</b> 06:00 朝のワイドショー 06:30 朝のワイドショー 07:00 朝のワイドショー 07:30 朝のワイドショー 08:00 朝のワイドショー 08:30 朝のワイドショー 09:00 朝のワイドショー 09:30 朝のワイドショー 10:00 朝のワイドショー 10:30 朝のワイドショー 11:00 朝のワイドショー 11:30 朝のワイドショー 12:00 朝のワイドショー 12:30 朝のワイドショー 13:00 朝のワイドショー 13:30 朝のワイドショー 14:00 朝のワイドショー 14:30 朝のワイドショー 15:00 朝のワイドショー 15:30 朝のワイドショー 16:00 朝のワイドショー 16:30 朝のワイドショー 17:00 朝のワイドショー 17:30 朝のワイドショー 18:00 朝のワイドショー 18:30 朝のワイドショー 19:00 朝のワイドショー 19:30 朝のワイドショー 20:00 朝のワイドショー 20:30 朝のワイドショー 21:00 朝のワイドショー 21:30 朝のワイドショー 22:00 朝のワイドショー 22:30 朝のワイドショー 23:00 朝のワイドショー 23:30 朝のワイドショー 24:00 朝のワイドショー
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(日本経済新聞 2024年1月3日)

**社説** Editorials

**声** Vo

**震度7能登半島地震**

西の夕天、石川半島、能登半島を震度7の地震が襲った。大津波は沿岸に及び、家屋の倒壊相次いだ。何ら備えがなかった人々が、命を失った。石川半島に自衛隊が派遣され、七尾各市では、消防隊が分府に駆けつけ、救助活動に当たっている。救助活動は、救助隊の到着を待たずに、住民が自力で救助活動を行っている。救助隊の到着を待たずに、住民が自力で救助活動を行っている。救助隊の到着を待たずに、住民が自力で救助活動を行っている。

**人命救助と支援に全力を**

震度7の地震が起きた。人命救助と支援に全力を尽くす。救助隊の到着を待たずに、住民が自力で救助活動を行っている。救助隊の到着を待たずに、住民が自力で救助活動を行っている。救助隊の到着を待たずに、住民が自力で救助活動を行っている。

(朝日新聞 2024年1月3日)

**能登で震度7**

能登半島で震度7の地震が発生。大津波が押し寄せ、多くの建物が倒壊した。救助活動が急がれている。

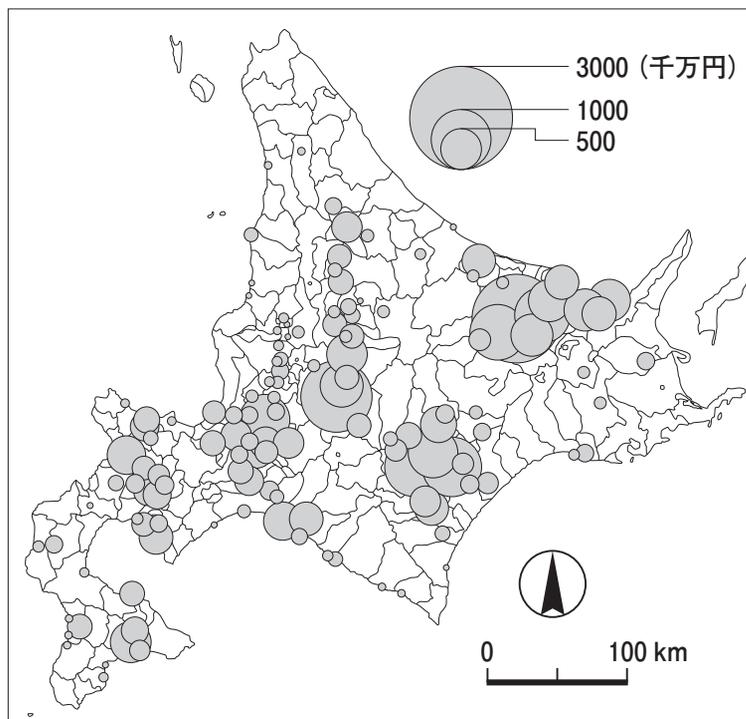
**羽田滑走路 隊員5人**

羽田空港の滑走路で、隊員5人が救助活動を行った。救助活動は、救助隊の到着を待たずに、住民が自力で救助活動を行っている。救助隊の到着を待たずに、住民が自力で救助活動を行っている。救助隊の到着を待たずに、住民が自力で救助活動を行っている。

(毎日新聞 2024年1月3日)

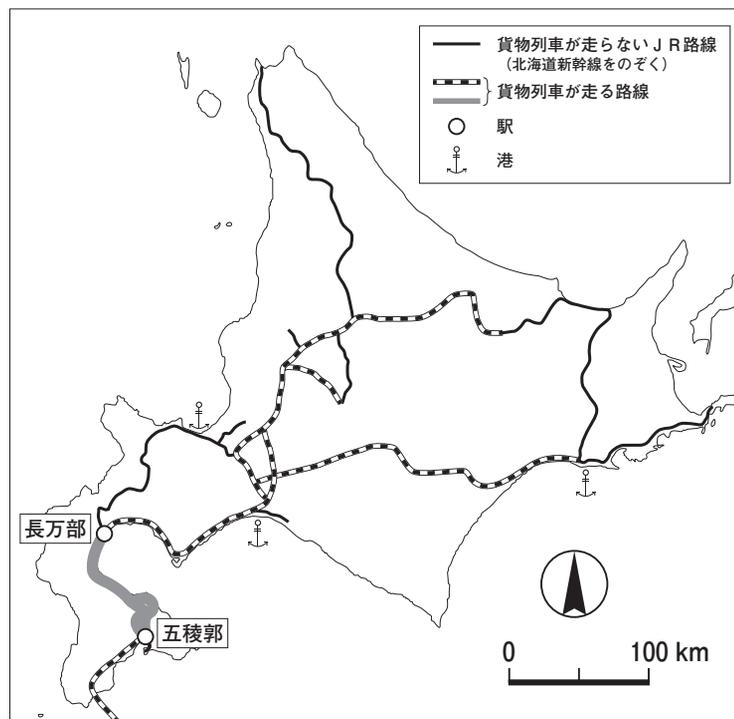
問10. 下線部⑩に関連して、このとき廃止が検討された区間には五稜郭ごりょうかく駅から長万部おしまんべ駅までの区間(《資料7》に○—○で示した部分)がふくまれますが、この区間を廃止すると北海道外へ輸送される農産物(野菜とイモ類)の流通に問題が生じてしまいます。その問題とはどのようなことでしょうか。本文と《資料6》～《資料9》をもとに150字以内で説明しなさい。なお、解答する際には「農産物(野菜とイモ類)」は「農産物」と表記してよい。

《資料6》 北海道内の農産物(野菜とイモ類)の市町村別出荷額(2022年)



(農林水産省「令和4年市町村別農業産出額(推計)」をもとに作成)

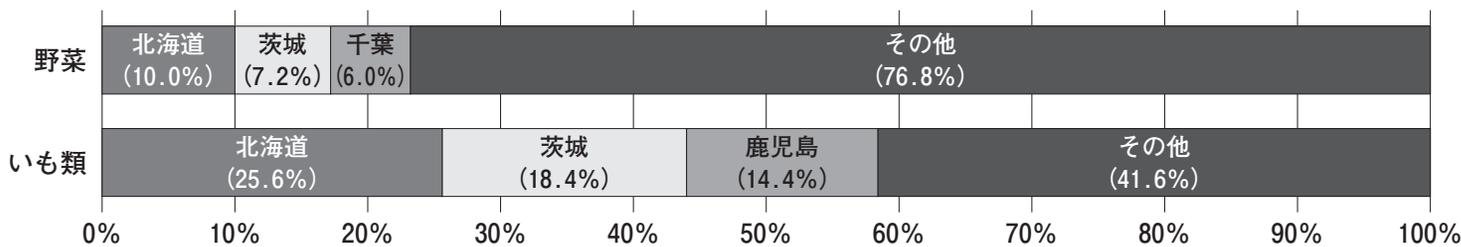
《資料7》 鉄道路線図と北海道外への農産物輸送に使う主な港



(ホクレン「北海道農畜産物から見た貨物鉄道輸送」

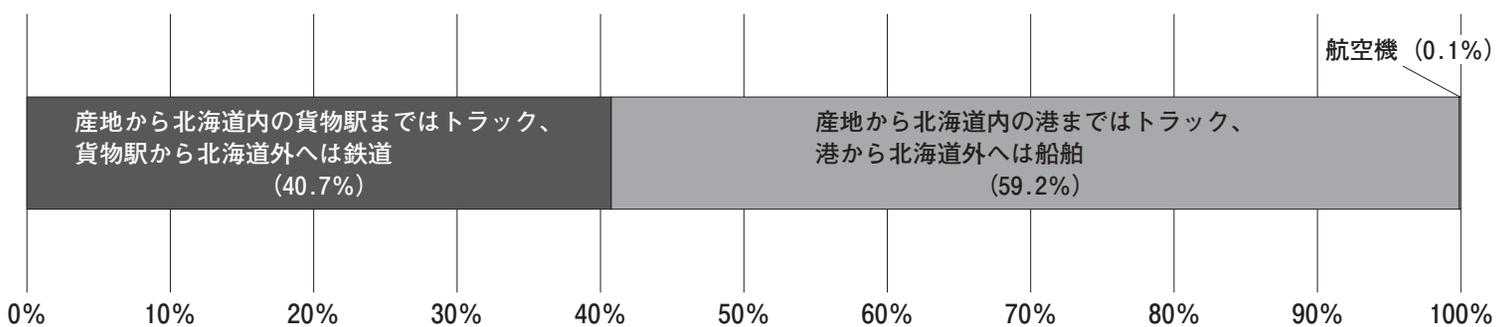
<https://www.mlit.go.jp/tetudo/content/001485830.pdf> などをもとに作成)

《資料8》 農産物の産出額の都道府県別構成割合(2022年)



(農林水産省「令和4年生産農業所得統計」をもとに作成)

《資料9》 北海道産の農産物(野菜とイモ類)の北海道外への主な輸送手段別比率(2022年)



注:「鉄道」はJR、「船舶」はフェリーと内航船の合計を示す

(国土交通省北海道開発局「令和5年度農畜産物及び加工食品の移出実態調査(令和4(2022)年)結果報告書」をもとに作成)

2025 年度 一般入試② 解答用紙 (社会)

問1.

問2.

問3.

問4.

問5. (1) 利根運河が開通するまで、銚子から利根川を  
 さかのぼって東京へ荷物を運ぶには、


100

A A  
 B B  
 C C  
 D D

(2)


100

A A  
 B B  
 C C  
 D D

問6.

問7.

問8.

問9.

問10.


100

150

A A  
 B B  
 C C  
 D D  
 E E

受験番号	<input type="text"/>	氏名	<input type="text"/>
------	----------------------	----	----------------------

計

2025年度 一般入試② 解答用紙 (社会)

問1.

問2.

問3.

問4.

- A
- B
- C
- D

問5. (1) 利根運河が開通するまで、銚子から利根川をさかのぼって東京へ荷物を運ぶには、遠回りして水運のみで江戸川へ向かうか、途中で荷物を陸に揚げて陸路で江戸川を目指す必要があり、時間と手間がかかった。そこで、利根川と江戸川をより短い水路を直接結ぶために利根運河がつくられた。

100

- A
- B
- C
- D

(2) 鉄道路線網の拡大により主は貨物輸送手段が船から鉄道へ移ることで、運河を利用する船が減少し通航料収入が減った。そのうえ相次ぐ洪水被害により、運河を復旧させるために多額の出費が必要になったから。

100

問6.

問7.

問8.

問9.

- A
- B
- C
- D
- E

問10. この区間が廃止されると、農産物を運ぶ貨物列車は直接本州へ向かえない。船舶で代行する場合、生産地から港まで輸送するために現在より長距離のトラック輸送が必要になるが、トラックの確保が難しいため現実的ではない。そのため主産地の北海道から本州へ農産物を運ぶにくくなり、国内の農産物供給が不安定になる。

150



受験番号		氏名	
------	--	----	--

計